

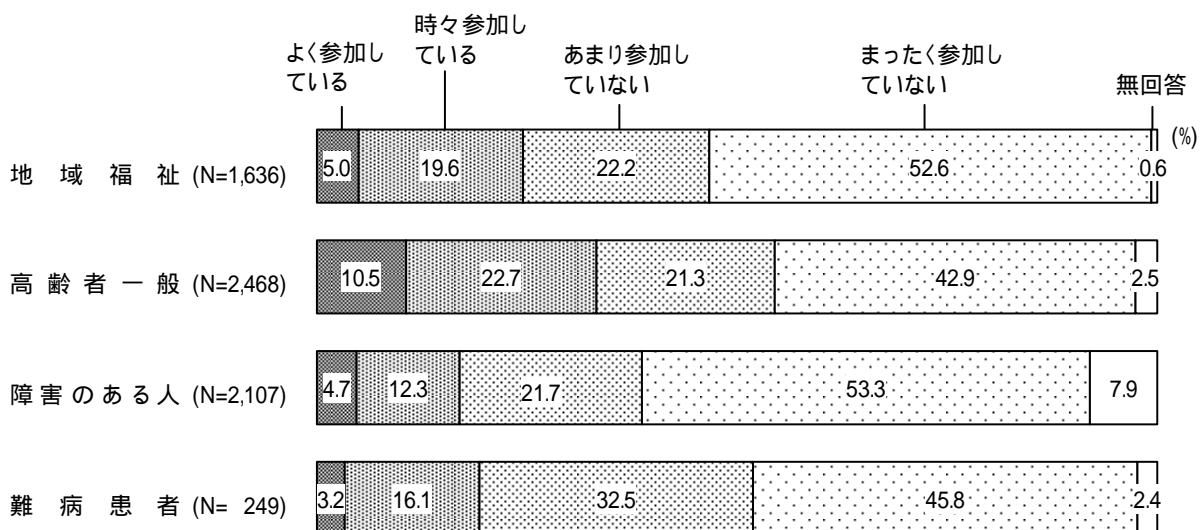
2 共通質問

(1) 地域活動への参加

地域活動への参加程度

地域活動への参加度は高齢者一般で高く、地域福祉、障害のある人、難病患者で低くなっている。障害のある人では無回答の割合も高くなっている（図表2-1-1-1）。

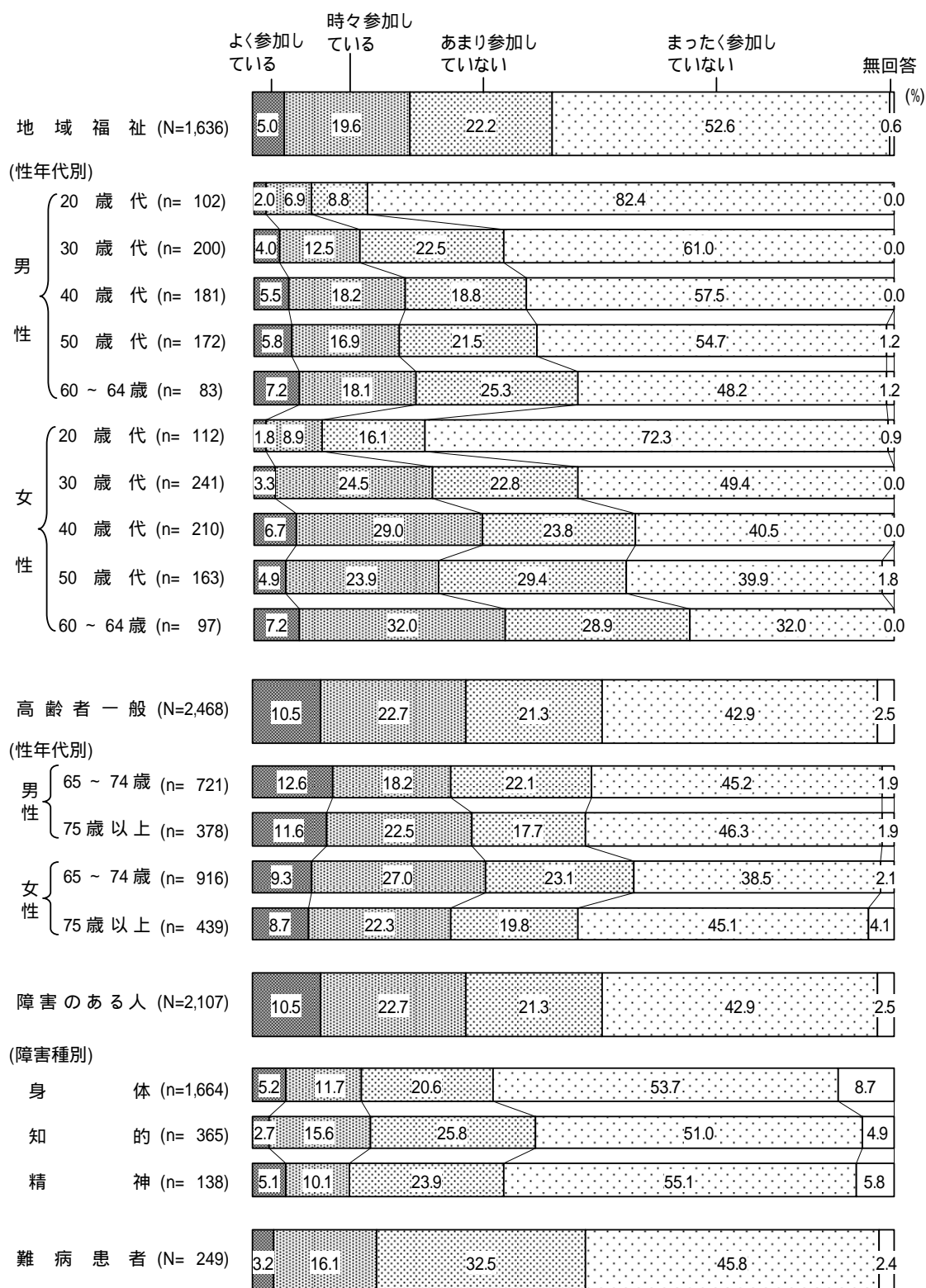
図表2-1-1-1 地域活動への参加程度



地域活動への参加度を属性別に見ると、「参加している」人の割合が高いのは、女性、高齢者などの属性であり、男性、若年層の参加度は低い。

障害のある人の中では、精神障害のある人の参加度が最も低くなっている（図表 2 - 1 - 1 - ）。

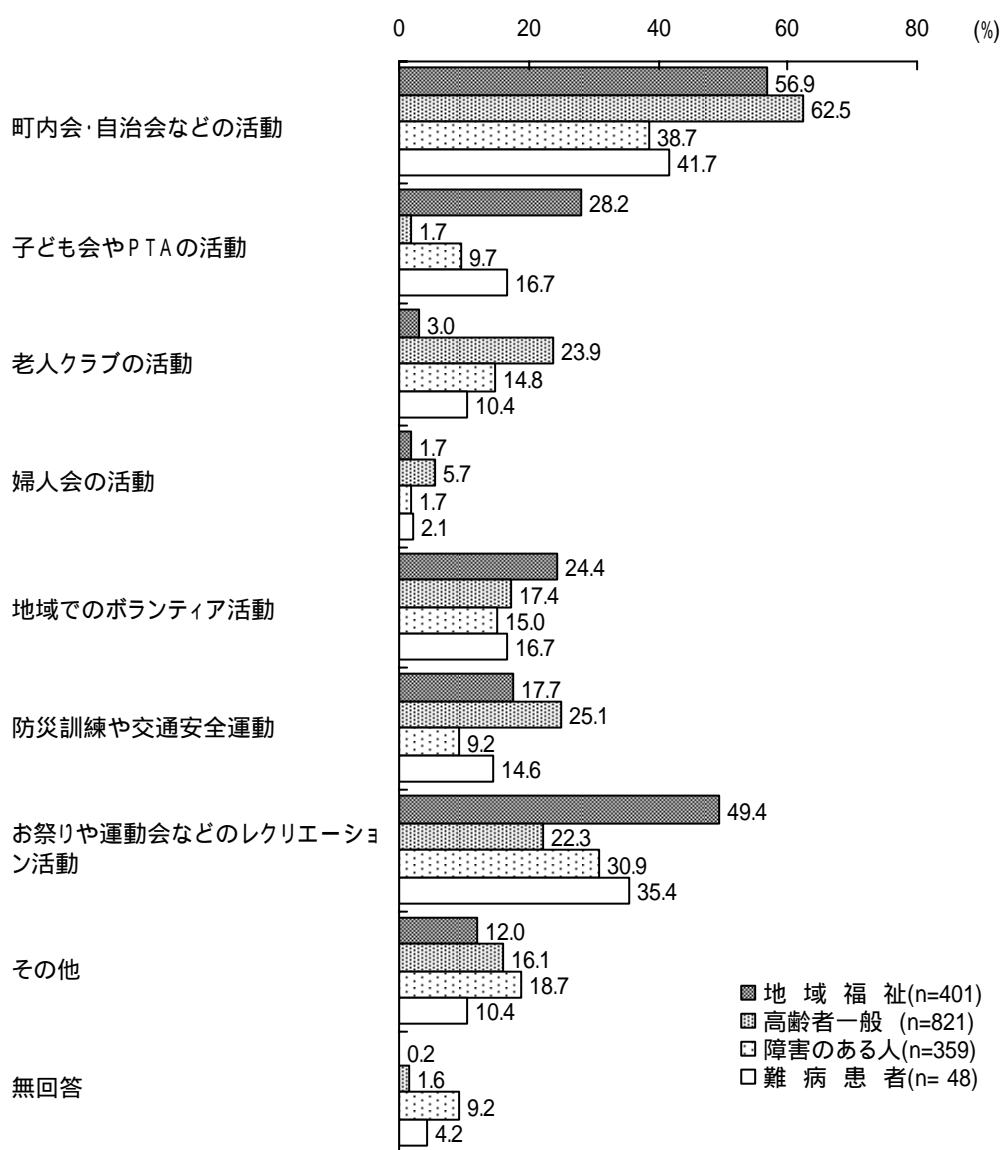
図表 2 - 1 - 1 - 地域活動への参加程度



参加している地域活動の種類

地域活動などに参加している人に対して、参加している活動の種類をたずねた。地域福祉では、他と比較して、「子ども会やPTAの活動」、「地域でのボランティア活動」、「レクリエーション活動」の割合が高くなっている。高齢者一般では「町内会・自治会などの活動」、「老人クラブの活動」、「防災訓練や交通安全運動」の割合が高くなっている。障害のある人では、「お祭りや運動会などのレクリエーション活動」の割合が高齢者一般に比べて高く、「その他」、「無回答」の割合も高くなっている（図表2-1-2- ）。

図表2-1-2- 参加している地域活動の種類（複数回答）



参加している地域活動の種類を属性別に比較すると、以下の点が指摘できる。

- 1) 「町内会・自治会などの活動」への参加は男性では 65～74 歳で最高となり、女性では 60～64 歳で最高となる。男女共若年層では低く、また知的障害、精神障害のある人で低くなっている。
- 2) 「子ども会やPTAの活動」への参加は女性 30 歳代、女性 40 歳代で最も高く、5 割を超えている。高齢者一般の参加はほとんど見られない。また、知的障害のある人の参加度が比較的高い。
- 3) 「老人クラブの活動」は 60 歳代前半までは 1 割に満たないが、60 歳代後半以降、特に 75 歳以上の参加率が急に高くなる。
- 4) 「婦人会の活動」への参加率が 1 割を超えるのは女性 65～74 歳のみである。
- 5) 「地域でのボランティア活動」への参加率は男性 60～64 歳で最も高く 5 割を超える。精神障害のある人の参加率も 23.8%と比較的高い。
- 6) 「防災訓練や交通安全運動」については、高齢者一般での参加率が高くなる傾向がある。
- 7) 「レクリエーション活動」については、男女共学齢期の子どもがいる 20 歳代、30 歳代で参加率が高い。また、知的障害のある人、精神障害のある人の参加率が比較的高い(図表 2 - 1 - 2 -)。

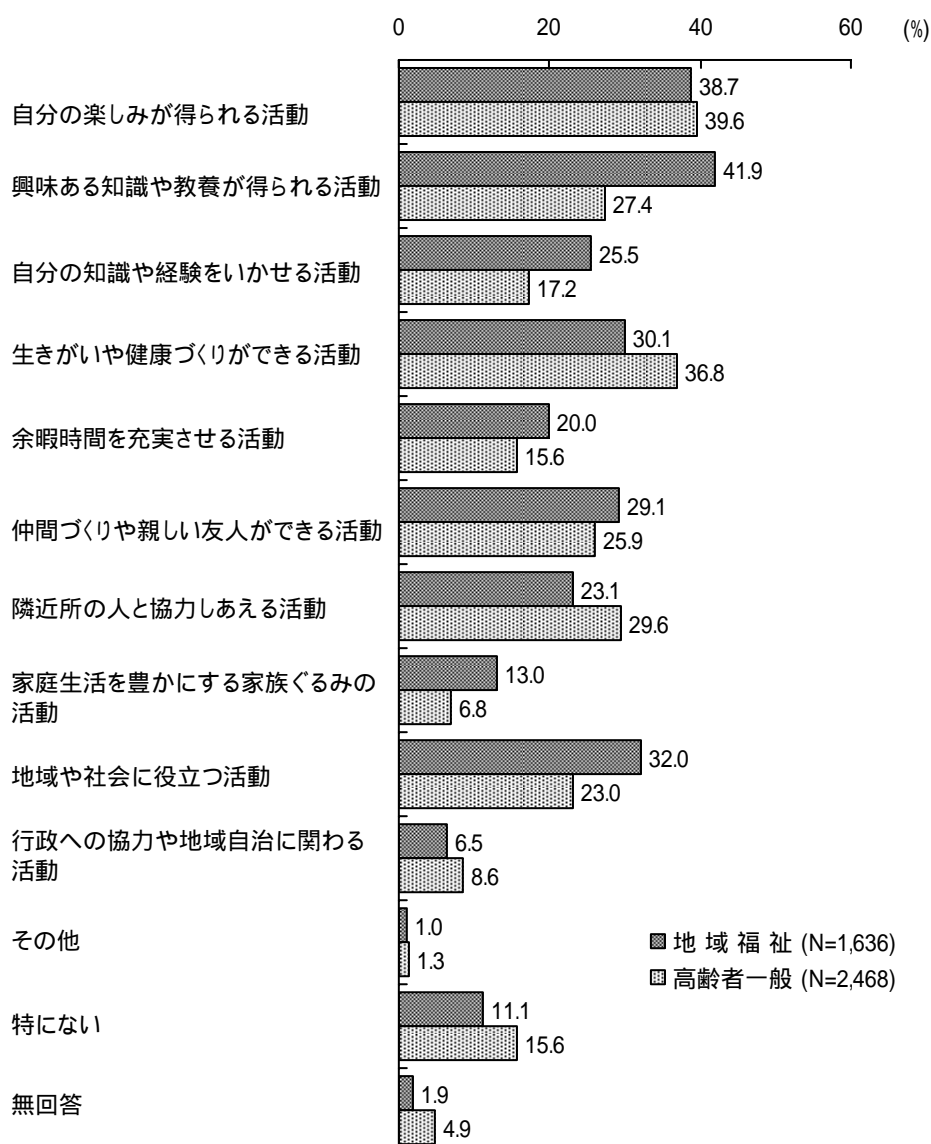
図表 2 - 1 - 2 - 参加している地域活動の種類 (複数回答)

		町内会・自治会などの活動	子ども会やPTAの活動	老人クラブの活動	婦人会の活動	地域でのボランティア	防災訓練や交通安全運動	お祭りや運動会などの活動	その他	無回答	
地域福祉 (n=401)		56.9	28.2	3.0	1.7	24.4	17.7	49.4	12.0	0.2	
性・年代別	男性	20 歳代 (n= 9)	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	66.7	33.3	0.0
		30 歳代 (n= 33)	39.4	9.1	0.0	0.0	36.4	27.3	57.6	12.1	0.0
		40 歳代 (n= 43)	62.8	34.9	0.0	0.0	16.3	23.3	53.5	11.6	0.0
		50 歳代 (n= 39)	61.5	7.7	5.1	2.6	30.8	17.9	41.0	15.4	0.0
		60 ~ 64 歳 (n= 21)	61.9	0.0	4.8	0.0	52.4	23.8	42.9	28.6	0.0
	女性	20 歳代 (n= 12)	50.0	8.3	8.3	0.0	8.3	16.7	83.3	16.7	0.0
		30 歳代 (n= 67)	38.8	53.7	0.0	0.0	11.9	11.9	68.7	6.0	0.0
		40 歳代 (n= 75)	56.0	68.0	0.0	2.7	10.7	14.7	48.0	5.3	0.0
	50 歳代 (n= 47)	70.2	4.3	6.4	4.3	31.9	8.5	34.0	14.9	0.0	
	60 ~ 64 歳 (n= 38)	71.1	0.0	5.3	2.6	31.6	23.7	23.7	18.4	2.6	
高齢者一般 (n=821)		62.5	1.7	23.9	5.7	17.4	25.1	22.3	16.1	1.6	
性・年代別	男性	65 ~ 74 歳 (n=222)	68.9	2.7	11.7	0.0	23.0	28.8	28.8	17.6	0.9
		75 歳以上 (n=129)	65.1	0.8	34.9	0.0	14.7	21.7	21.7	16.3	2.3
	女性	65 ~ 74 歳 (n=332)	59.6	1.8	20.8	12.3	17.5	24.1	22.0	15.4	1.8
		75 歳以上 (n=136)	56.6	0.7	40.4	4.4	10.3	24.3	12.5	15.4	1.5
障害のある人 (n=359)		38.7	9.7	14.8	1.7	15.0	9.2	30.9	18.7	9.2	
障害種別	身体 (n=271)	41.3	7.4	18.8	2.2	17.0	8.9	23.2	19.2	8.9	
	知的 (n= 67)	31.3	22.4	1.5	0.0	4.5	9.0	56.7	17.9	7.5	
	精神 (n= 21)	28.6	0.0	4.8	0.0	23.8	14.3	47.6	14.3	19.0	
難病患者 (n= 48)		41.7	16.7	10.4	2.1	16.7	14.6	35.4	10.4	4.2	

今後参加したい地域活動

今後参加したい地域活動については、「知識・教養が得られる活動」、「余暇時間を充実させる活動」、「仲間作りのできる活動」、「地域や社会に貢献できる活動」などで地域福祉の回答が高齢者一般の回答割合を上回っている。しかし、「自分の楽しみが得られる活動」、「行政への協力や地域自治に関わる活動」では高齢者一般の回答割合のほうが高くなっている（図表2-1-3- ）。

図表2-1-3- 今後参加したい地域活動（複数回答）



地域福祉調査、高齢者一般調査を通じて、性・年齢別の回答傾向から以下の点が指摘できる。

- 1) 「自分の楽しみが得られる活動」については、男女共 20 歳代が最高で、その他の年齢層で高いのは、男性・50 歳代、女性・60～64 歳、男性・65～74 歳、女性 65～74 歳である。男女共 75 歳以上では回答率が低くなる。
- 2) 「興味ある知識や教養が得られる活動」については、男女共 20 歳代が最高で、年齢の上昇とともに回答率が低くなる。
- 3) 「自分の知識や経験が活かせる活動」、「余暇時間を充実させる活動」は、男女共 60～64 歳の回答率が最高で、65 歳以上では回答率が低くなる。
- 4) 「仲間作りや親しい友人ができる活動」は 20 歳代、30 歳代など若い年齢の回答率が高いが、年齢層による極端な差は見られない。若い世代の回答率は、65 歳以上の高齢者一般の回答率を上回っている。
- 5) 「隣近所の人と協力し合える活動」については、年齢の上昇とともに回答率が上がる。男性では 65～74 歳がピーク、女性では 60～64 歳が回答のピークである。
- 6) 「地域や社会に役立つ活動」は男女共 50 歳代が回答のピークである。
- 7) 「行政への協力や地域自治に関わる活動」への参加希望が 1 割を超えるのは、男性の 50 歳代、65～74 歳、75 歳以上である（図表 2 - 1 - 3 - ）。

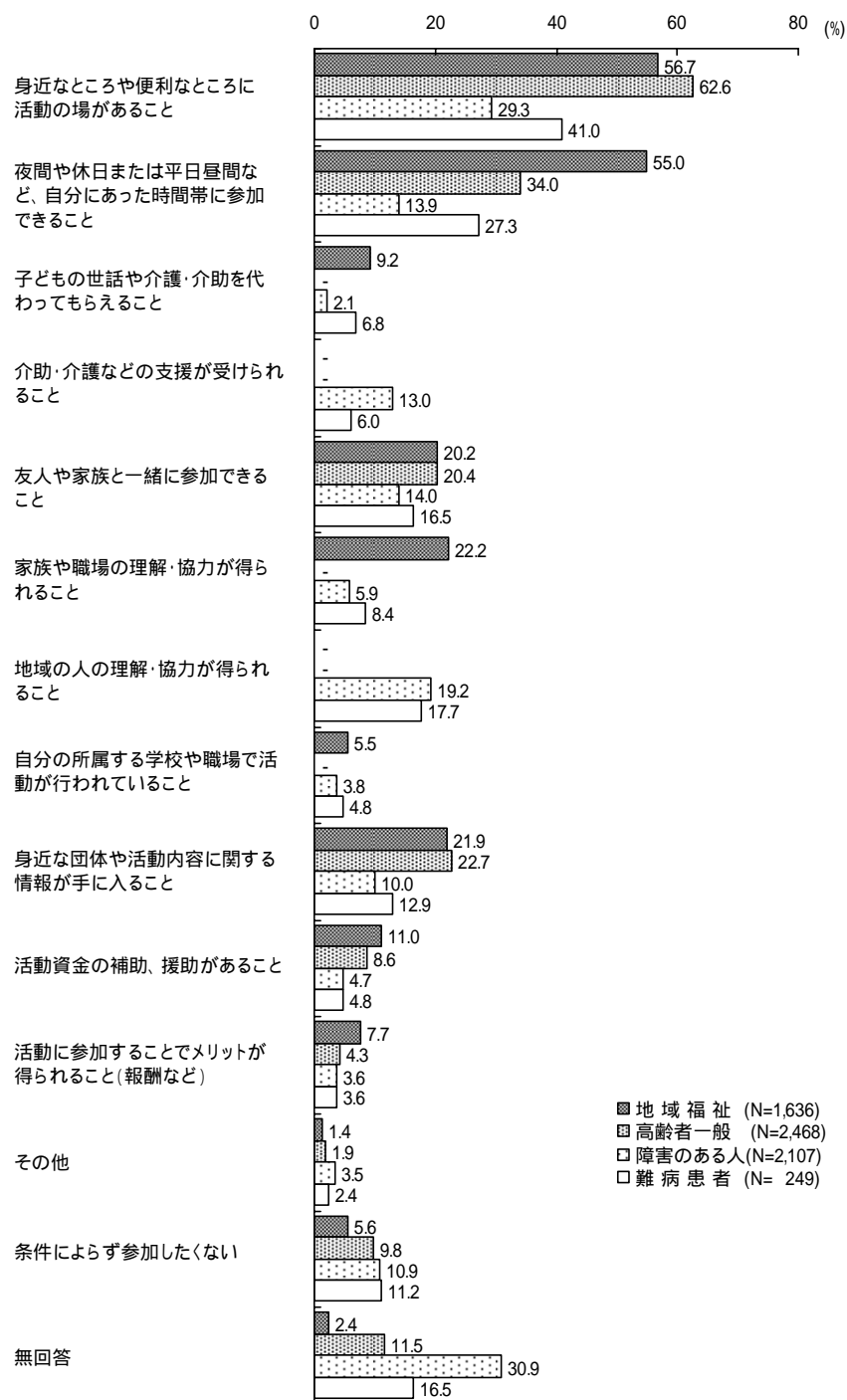
図表 2 - 1 - 3 - 今後参加したい地域活動（複数回答）

		自活 動の 楽し みが 得ら れる	興ら れる 活 動 知 識 や 教 養 が 得	自 せ る 活 動 知 識 や 経 験 を い か	生 き が い い 活 動 健 康 づ くり が	余 暇 時 間 を 充 実 さ せ る 活	仲 間 づ く り 活 動 や 親 し い 友 人	隣 近 所 の 人 と 協 力 し あ え	家 庭 生 活 を 豊 か に す る 家	地 域 や 社 会 に 役 立 つ 活 動	行 に 関 わ る 活 動 や 地 域 自 治	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
地 域 福 祉 (N=1,636)		38.7	41.9	25.5	30.1	20.0	29.1	23.1	13.0	32.0	6.5	1.0	11.1	1.9	
性 年 代 別	男 性	20 歳代 (n= 102)	47.1	47.1	24.5	16.7	17.6	34.3	15.7	9.8	29.4	7.8	1.0	9.8	0.0
		30 歳代 (n= 200)	34.0	37.0	18.0	19.5	19.0	28.5	19.0	21.0	28.0	7.0	1.5	15.0	2.0
		40 歳代 (n= 181)	36.5	39.2	29.8	23.2	23.2	22.1	21.5	13.3	28.7	7.7	1.1	13.8	1.7
		50 歳代 (n= 172)	43.0	30.2	27.3	33.1	24.4	22.7	28.5	8.1	40.7	11.0	0.0	13.4	1.7
	60～64 歳 (n= 83)	38.6	25.3	32.5	43.4	26.5	32.5	30.1	3.6	37.3	8.4	0.0	12.0	2.4	
	女 性	20 歳代 (n= 112)	49.1	60.7	25.0	22.3	25.9	38.4	16.1	16.1	27.7	6.3	1.8	9.8	0.9
		30 歳代 (n= 241)	36.9	47.3	23.7	21.6	17.0	39.0	21.2	22.4	27.0	2.9	2.1	9.1	1.7
		40 歳代 (n= 210)	40.0	50.0	26.7	38.1	16.7	25.2	22.9	12.4	35.2	7.6	0.5	8.1	1.4
50 歳代 (n= 163)		33.1	46.0	20.9	44.8	19.0	30.1	23.3	3.1	38.7	3.1	0.6	6.7	2.5	
60～64 歳 (n= 97)	43.3	36.1	36.1	45.4	21.6	21.6	37.1	8.2	30.9	8.2	1.0	7.2	0.0		
高 齢 者 一 般 (N=2,468)		39.6	27.4	17.2	36.8	15.6	25.9	29.6	6.8	23.0	8.6	1.3	15.6	4.9	
年 代 別	65～74 歳 (n=1,640)	42.9	29.4	20.1	41.0	18.6	27.7	31.2	7.1	25.7	9.2	1.1	12.6	3.2	
	75 歳以上 (n= 822)	33.2	23.7	11.3	28.7	9.7	22.3	26.6	6.2	17.6	7.3	1.6	21.5	8.0	
性 年 代 別	男 性	65～74 歳 (n= 721)	41.2	25.0	24.4	37.0	21.6	26.1	30.7	8.3	30.9	13.3	1.0	14.7	1.8
		75 歳以上 (n= 378)	32.8	25.9	16.4	30.7	12.4	22.2	28.0	8.2	24.3	11.1	2.1	19.3	5.8
	女 性	65～74 歳 (n= 916)	44.3	32.9	16.8	44.2	16.3	29.1	31.7	6.1	21.6	6.0	1.2	10.9	4.1
		75 歳以上 (n= 439)	33.7	22.1	6.8	27.1	7.1	22.6	25.5	4.6	11.8	4.1	1.1	23.7	9.6

地域活動を行う上で必要な環境・条件

地域活動を行う上で必要な環境・条件については、地域福祉では、「夜間や休日または平日昼間など、自分にあつた時間帯に参加できること」、「家族や職場の理解・協力が得られること」が高くなっている。高齢者一般の回答割合が地域福祉を上回っているのは、「身近なところや便利なところに活動の場があること」である。障害のある人の回答はどの項目でも低く、「無回答」も30.9%である（図表2-1-4- ）。

図表2-1-4- 地域活動を行う上で必要な環境・条件（全体：複数回答）



性・年齢別、障害の種類別などで最も回答率の高かった属性と低かった属性は次のとおりである。

	最も回答率の高かった属性	最も回答率の低かった属性
身近なところや便利なところに活動場があること	女性 60～64 歳	身体障害
夜間や休日または平日昼間など自分にあった時間帯に参加できること	女性 40 歳代	知的障害
子どもの世話や介護・介助を代わってもらえること	女性 30 歳代	身体障害
介助・介護などの支援が受けられること	知的障害	精神障害
友人や家族と一緒に参加できること	男性 20 歳代	精神障害
家族や職場の理解・協力が得られること	男性 40 歳代	身体障害
地域の人々の理解・協力が得られること	知的障害	身体障害
自分の所属する学校や職場で活動が行われていること	知的障害	身体障害
身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること	女性 60～64 歳	身体障害
活動資金の補助、援助があること	男性 50 歳代	身体障害
活動に参加することでメリットが得られること(報酬など)	男性 20 歳代	女性 75 歳以上
条件によらず参加したくない	女性 75 歳以上	女性 30 歳代
無回答	身体障害	男性 20 歳代

図表 2 - 1 - 4 - 地域活動を行う上で必要な環境・条件（全体：複数回答）

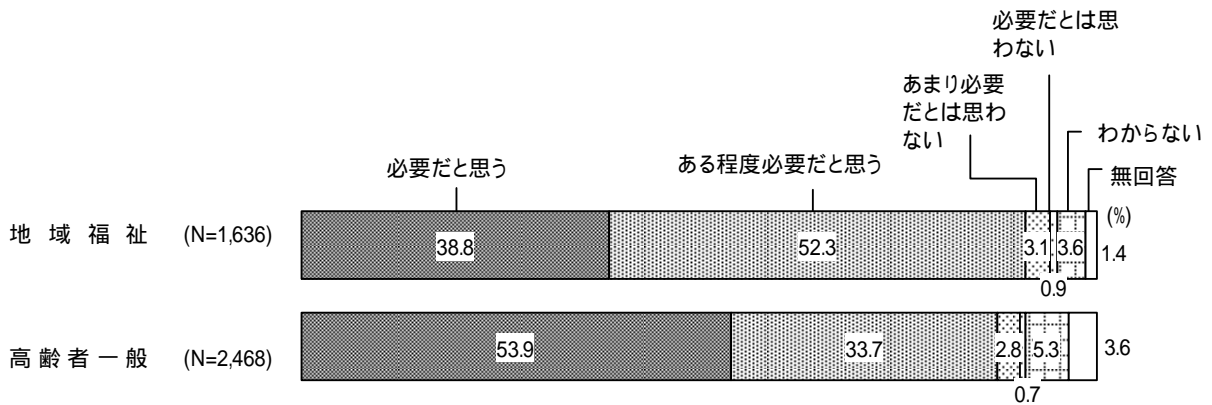
		身近なところや便利なところ	夜間や休日または平日昼間など自分にあった時間帯に参加できること	子どもの世話や介護・介助を代わってもらえること	介助・介護などの支援が受けられること	友人や家族と一緒に参加できること	家族や職場の理解・協力が得られること	地域の人々の理解・協力が得られること	自分の所属する学校や職場で活動が行われていること	身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること	活動資金の補助、援助があること	活動に参加することでメリットが得られること(報酬など)	その他	条件によらず参加したくない	無回答	
地域	福祉 (N=1,636)	56.7	55.0	9.2	-	20.2	22.2	-	5.5	21.9	11.0	7.7	1.4	5.6	2.4	
性年代別	男性	20 歳代 (n= 102)	55.9	49.0	9.8	-	32.4	22.5	-	7.8	17.6	15.7	14.7	1.0	5.9	0.0
		30 歳代 (n= 200)	50.5	59.5	7.5	-	24.5	29.5	-	7.0	16.0	7.0	11.0	1.0	7.0	0.5
		40 歳代 (n= 181)	51.9	59.7	5.5	-	14.4	30.4	-	2.8	23.8	12.7	5.5	1.1	7.2	1.1
		50 歳代 (n= 172)	50.6	51.7	2.9	-	14.0	18.0	-	3.5	29.1	18.0	5.8	1.2	8.1	2.9
	60～64 歳 (n= 83)	66.3	48.2	0.0	-	20.5	8.4	-	4.8	27.7	9.6	7.2	2.4	9.6	3.6	
	女性	20 歳代 (n= 112)	51.8	51.8	11.6	-	21.4	22.3	-	7.1	24.1	14.3	12.5	2.7	5.4	1.8
		30 歳代 (n= 241)	54.8	58.1	23.7	-	27.4	21.6	-	7.9	14.9	7.5	9.5	1.2	2.5	1.7
		40 歳代 (n= 210)	60.5	62.4	10.0	-	16.2	26.2	-	7.1	21.4	9.5	4.8	1.0	2.9	1.9
50 歳代 (n= 163)		66.9	51.5	6.7	-	14.7	16.6	-	3.1	25.8	13.5	4.9	1.2	3.1	4.3	
60～64 歳 (n= 97)	72.2	53.6	2.1	-	21.6	20.6	-	3.1	35.1	6.2	5.2	1.0	3.1	1.0		
高齢者一般	(N=2,468)	62.6	34.0	-	-	20.4	-	-	-	22.7	8.6	4.3	1.9	9.8	11.5	
性年代別	男性	65～74 歳 (n= 721)	63.9	41.3	-	-	20.7	-	-	-	28.4	11.1	8.0	2.1	8.5	5.5
		75 歳以上 (n= 378)	54.8	26.7	-	-	19.0	-	-	-	18.8	7.4	4.8	2.4	15.6	12.4
	女性	65～74 歳 (n= 916)	69.5	39.0	-	-	22.6	-	-	-	23.9	8.6	2.8	2.1	5.6	9.6
		75 歳以上 (n= 439)	53.3	18.0	-	-	16.9	-	-	-	14.6	5.9	1.1	0.9	15.7	23.2
障害のある人	(N=2,107)	29.3	13.9	2.1	13.0	14.0	5.9	19.2	3.8	10.0	4.7	3.6	3.5	10.9	30.9	
障害種別	身体 (n=1,604)	27.1	13.6	1.6	10.9	12.0	4.7	15.1	2.2	9.5	3.7	3.1	4.0	11.9	34.5	
	知的 (n= 365)	34.0	11.8	3.8	25.5	22.7	8.2	35.1	11.5	10.7	5.2	1.9	0.3	5.8	21.9	
	精神 (n= 138)	42.8	23.2	2.9	3.6	14.5	13.0	24.6	2.9	13.8	15.9	13.8	5.8	13.0	12.3	
難病患者	(N= 249)	41.0	27.3	6.8	6.0	16.5	8.4	17.7	4.8	12.9	4.8	3.6	2.4	11.2	16.5	

(2) 地域住民の協力関係、近所づきあい

地域住民の協力関係の必要性

地域住民相互の協力関係の必要性については、地域福祉よりも高齢者一般のほうがより強く感じている（図表2-2-1-）。

図表2-2-1- 地域住民の協力関係の必要性



「必要だと思う」とする人の割合は、男性では65歳以上が高く5割を超えている。また、男性20歳代でも46.1%と比較的高い。

この割合は、女性でも65歳以上が高く5割を超えている（図表2-2-1-）。

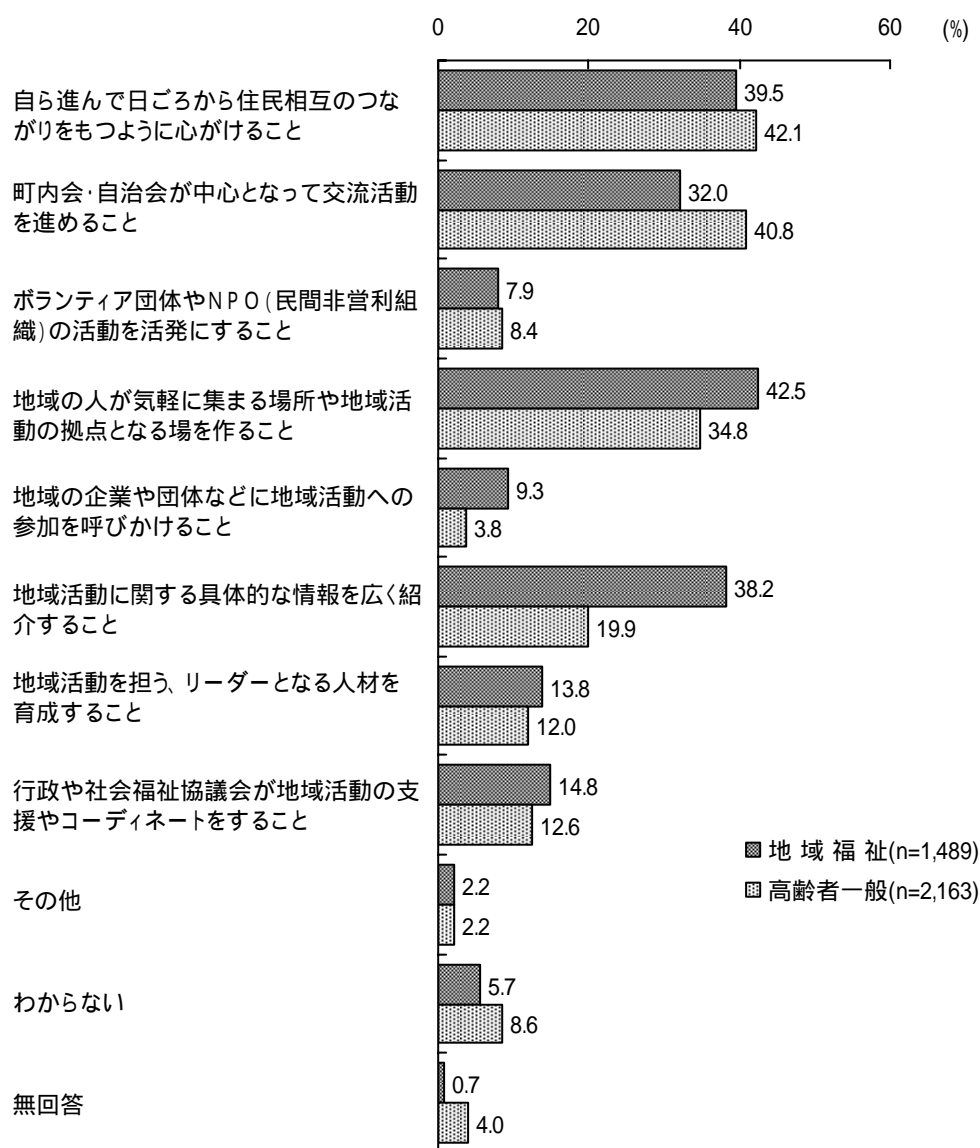
図表2-2-1- 地域住民の協力関係の必要性

		必要だと思う	ある程度必要だと思う	あまり必要だとは思わない	必要だとは思わない	わからない	無回答	
地域福祉 (N=1,636)		38.8	52.3	3.1	0.9	3.6	1.4	
性年代別	男性	20歳代 (n= 102)	46.1	47.1	3.9	0.0	2.9	0.0
		30歳代 (n= 200)	35.5	58.5	2.5	1.0	2.0	0.5
		40歳代 (n= 181)	34.3	54.1	5.0	1.7	4.4	0.6
		50歳代 (n= 172)	44.2	45.9	3.5	2.3	2.3	1.7
		60～64歳 (n= 83)	37.3	47.0	3.6	2.4	6.0	3.6
	女性	20歳代 (n= 112)	33.9	57.1	2.7	0.0	4.5	1.8
		30歳代 (n= 241)	37.3	56.0	1.7	0.4	3.7	0.8
		40歳代 (n= 210)	39.5	52.4	3.3	0.5	3.8	0.5
		50歳代 (n= 163)	38.7	52.1	3.1	0.0	3.1	3.1
		60～64歳 (n= 97)	38.1	52.6	4.1	1.0	4.1	0.0
高齢者一般 (N=2,468)		53.9	33.7	2.8	0.7	5.3	3.6	
性年代別	男性	65～74歳 (n= 721)	58.5	31.9	2.9	0.8	3.5	2.4
		75歳以上 (n= 378)	59.3	29.6	3.2	1.3	4.5	2.1
	女性	65～74歳 (n= 916)	50.0	38.0	2.5	0.1	6.0	3.4
		75歳以上 (n= 439)	50.6	31.4	2.7	0.9	7.7	6.6

地域住民の協力関係を築くために必要なこと

住民の協力関係を築くために必要なこととして、地域福祉の回答が高齢者一般を大きく上回っているのは、地域活動の場作り、地域活動の情報紹介である。これとは逆に、町内会・自治会中心の交流活動、日ごろからのつながりの重要性については高齢者一般の回答割合が地域福祉を上回っている（図表 2 - 2 - 2 - ）。

図表 2 - 2 - 2 - 地域住民の協力関係を築くために必要なこと（複数回答）



性・年齢別に最も回答率の高かった属性と低かった属性は次のとおりである。

	最も回答率の高かった属性	最も回答率の低かった属性
自ら進んで日ごろから住民相互のつながりをもつように心がけること	女性 20 歳代	男性 30 歳代
町内会・自治会が中心となって交流活動を進めること	男性 60～64 歳	女性 40 歳代
ボランティア団体や NPO(民間非営利組織)の活動を活発にすること	男性 65～74 歳	女性 75 歳以上
地域の人が気軽に集まる場所や地域活動の拠点となる場を作ること	男性 20 歳代	女性 75 歳以上
地域の企業や団体などに地域活動への参加を呼びかけること	男性 30 歳代	女性 75 歳以上
地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること	女性 50 歳代	男性 75 歳以上
地域活動を担う、リーダーとなる人材を育成すること	女性 60～64 歳	女性 20 歳代
行政や社会福祉協議会が地域活動への支援やコーディネートをすること	女性 50 歳代	女性 20 歳代

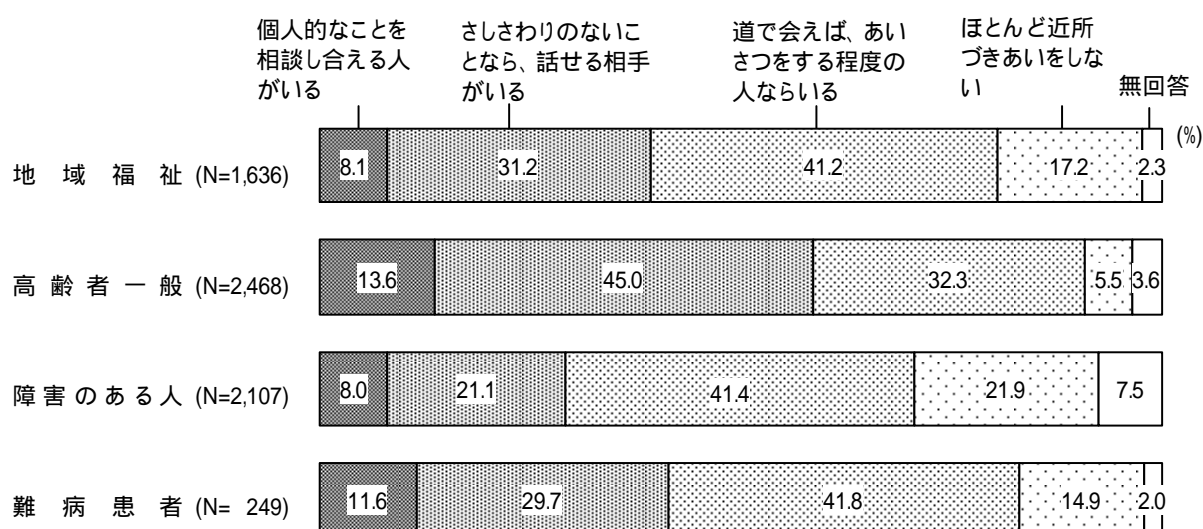
図表 2 - 2 - 2 - 地域住民の協力関係を築くために必要なこと（複数回答）

		日ごろもかつ住に相互のつながり	町内会・自治会が中心となる	ボランティア団体の活動	地域の人気が集まる場所	地域活動への参加を呼びかける	地域活動を広く紹介すること	地域の人材を育成すること	行政や社会福祉協議会が支援	その他	わからない	無回答	
地域福祉	(n=1,489)	39.5	32.0	7.9	42.5	9.3	38.2	13.8	14.8	2.2	5.7	0.7	
性年代別	男性	20 歳代 (n= 95)	36.8	35.8	8.4	50.5	13.7	33.7	17.9	9.5	3.2	3.2	1.1
		30 歳代 (n= 188)	34.6	29.3	7.4	41.5	14.4	28.2	13.3	13.3	5.3	7.4	0.0
		40 歳代 (n= 160)	36.9	31.9	8.1	38.1	10.6	39.4	11.3	18.1	1.9	6.3	1.3
		50 歳代 (n= 155)	36.8	38.7	9.7	37.4	7.7	42.6	14.8	17.4	0.6	6.5	0.6
		60～64 歳 (n= 70)	34.3	50.0	11.4	47.1	4.3	41.4	11.4	14.3	1.4	1.4	0.0
	女性	20 歳代 (n= 102)	50.0	20.6	2.9	46.1	10.8	29.4	7.8	6.9	2.9	6.9	1.0
		30 歳代 (n= 225)	42.2	30.2	7.1	42.7	7.1	40.9	9.3	12.0	1.3	8.0	0.4
		40 歳代 (n= 193)	43.5	24.9	7.3	44.0	7.3	37.3	18.1	16.1	1.6	5.2	0.5
		50 歳代 (n= 148)	37.8	33.1	6.1	43.9	7.4	45.9	14.9	20.3	2.0	4.1	0.0
		60～64 歳 (n= 88)	46.6	39.8	9.1	46.6	8.0	45.5	19.3	12.5	1.1	1.1	0.0
高齢者一般	(n=2,163)	42.1	40.8	8.4	34.8	3.8	19.9	12.0	12.6	2.2	8.6	4.0	
性年代別	男性	65～74 歳 (n= 652)	42.2	44.8	11.8	34.8	5.4	26.8	13.8	14.1	1.4	6.3	2.5
		75 歳以上 (n= 336)	40.5	44.0	9.5	30.4	4.5	12.2	10.7	10.4	2.7	11.6	4.8
	女性	65～74 歳 (n= 806)	44.4	37.5	7.7	39.3	3.0	20.7	12.4	12.9	2.1	6.7	3.3
		75 歳以上 (n= 360)	38.9	38.1	3.1	29.2	1.9	12.8	8.9	11.4	3.6	13.6	7.5

近所づきあいの程度

近所づきあいの程度は、高齢者一般がもっとも深く、これについて、地域福祉、障害のある人の順となっている。障害のある人では、ほとんど近所づきあいをしない人と無回答を合わせると、3割近くになる（図表2-2-3- ）。

図表2-2-3- 近所づきあいの程度

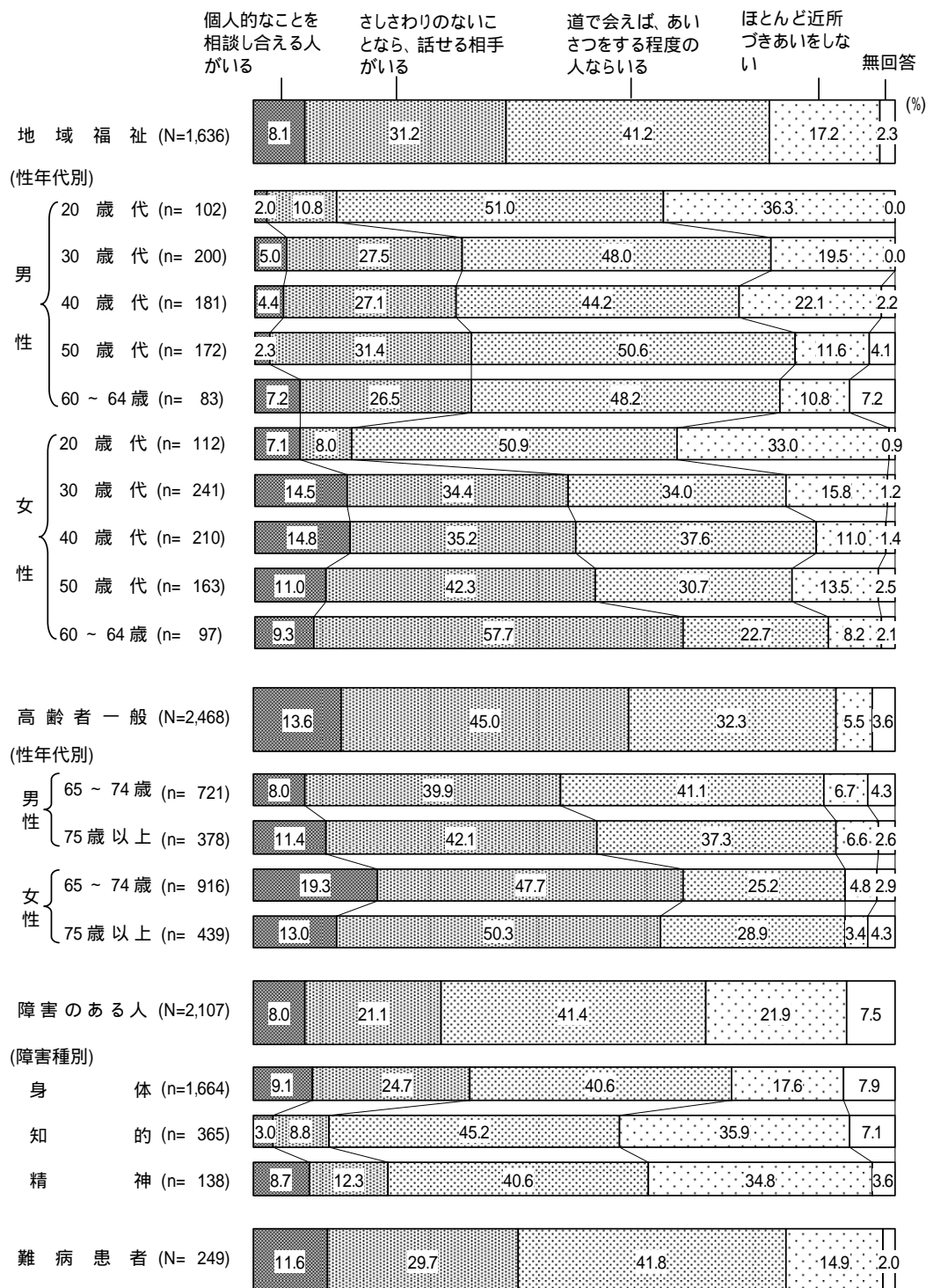


「個人的なことを相談し合える人がいる」とする人の割合が高いのは、女性 65～74 歳、女性 40 歳代、女性 30 歳代、女性 50 歳代、男性 75 歳以上などである。

この割合は、身体障害のある人、精神障害のある人でも比較的高く、地域福祉調査の平均回答率を超えている。

これとは逆に「ほとんど近所づきあいをしない」人の割合は、男女 20 歳代、知的障害のある人、精神障害のある人で高く、3 割を超えている（図表 2 - 2 - 3 - ）。

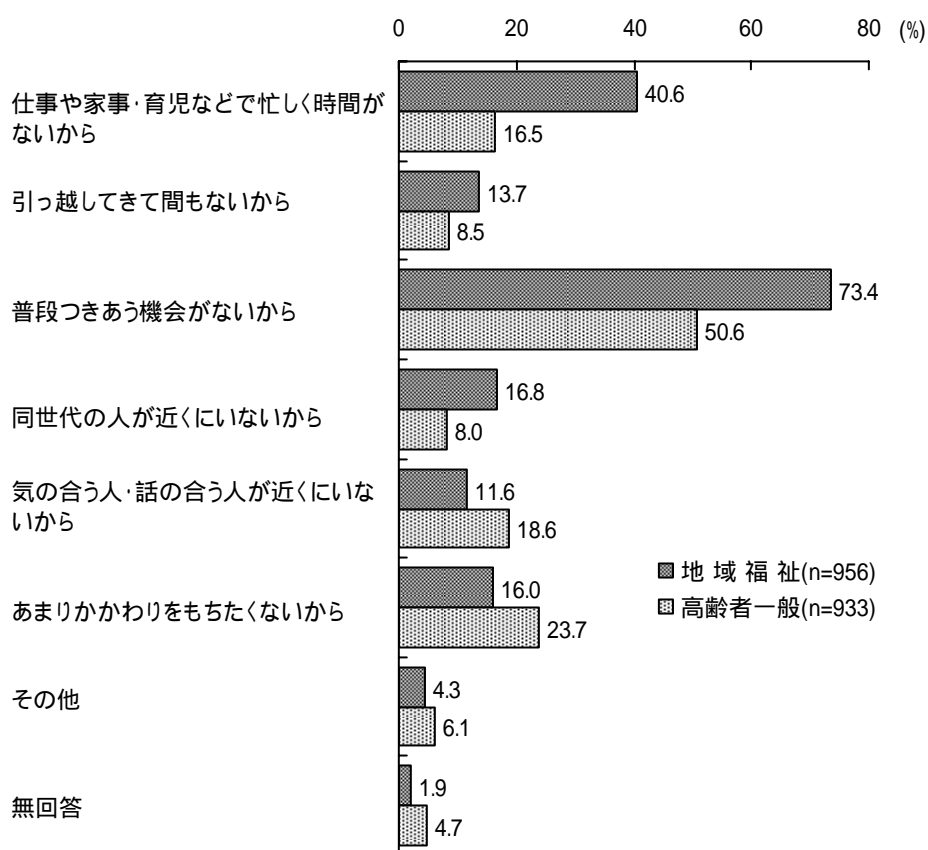
図表 2 - 2 - 3 - 近所づきあいの程度



近所づきあいのない理由

近所づきあいをしない主な理由で、地域福祉が高齢者一般を大きく上回ったのは、忙しくて時間がない、普段つきあう機会がない、同世代の人が近くにいないなどである。これとは逆に、高齢者一般の回答割合が地域福祉を上回ったのは、気の合う人が近くにいない、あまりかかわりを持ちたくないなどである（図表2 - 2 - 4 - ）。

図表2 - 2 - 4 - 近所づきあいのない理由（複数回答）



性・年齢別に最も回答率の高かった属性と低かった属性は次のとおりである。

回答率最高の属性、最低の属性のポイント差は大きく、ライフステージに応じた施策の必要性を示唆している。

	最も回答率の高かった属性	最も回答率の低かった属性
仕事や家事・育児などで忙しく時間がないから	女性 60～64 歳	女性 75 歳以上
引っ越してきて間もないから	女性 50 歳代	女性 75 歳以上
普段つきあう機会がないから	男性 60～64 歳	女性 65～74 歳
同世代の人が近くにいないから	女性 20 歳代	男性 60～64 歳
気の合う人・話の合う人が近くにいないから	男性 75 歳以上	女性 30 歳代
あまりかかわりをもちたくないから	女性 65～74 歳	女性 20 歳代

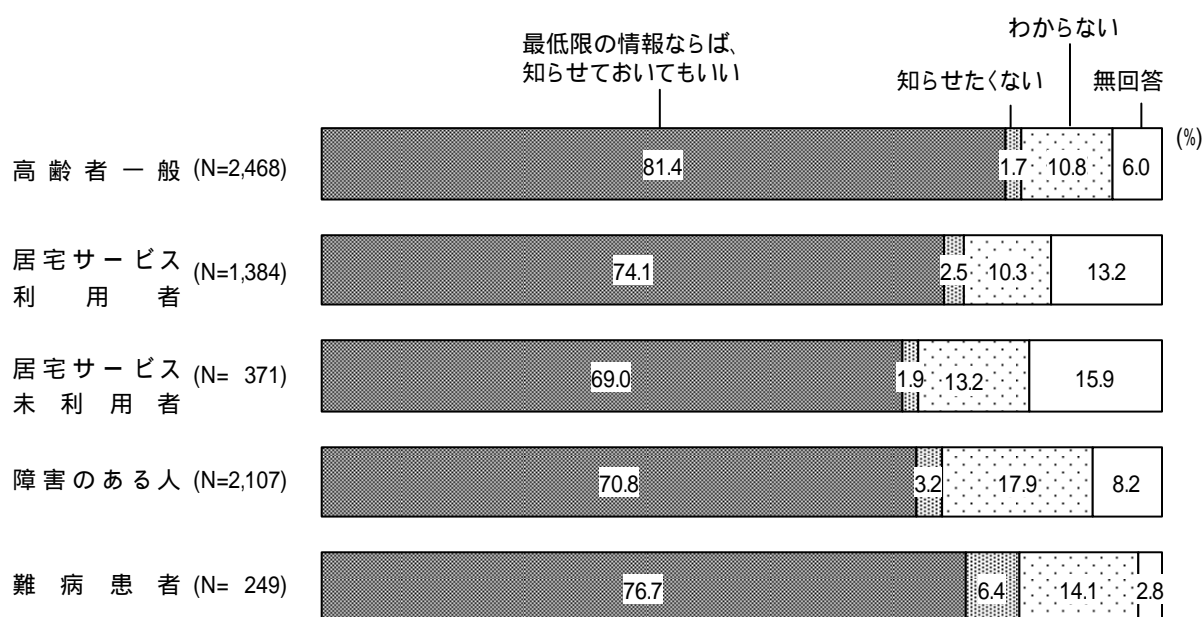
図表 2 - 2 - 4 - 近所づきあいのない理由（複数回答）

				仕事や家事・育児などで忙しく時間がないから	引っ越してきて間もないから	普段つきあう機会がないから	同世代の人が近くにいないから	気の合う人・話の合う人が近くにいないから	あまりかかわりをもちたくないから	その他	無回答
地域	福祉	(n=956)		40.6	13.7	73.4	16.8	11.6	16.0	4.3	1.9
性年代別	男性	20 歳代	(n= 89)	33.7	14.6	78.7	22.5	10.1	11.2	7.9	2.2
		30 歳代	(n=135)	45.2	15.6	68.9	15.6	5.9	14.1	0.7	2.2
		40 歳代	(n=120)	43.3	9.2	77.5	14.2	12.5	15.8	0.8	2.5
		50 歳代	(n=107)	43.9	8.4	72.9	8.4	15.9	18.7	1.9	0.0
		60～64 歳	(n= 49)	20.4	8.2	79.6	4.1	22.4	20.4	6.1	2.0
	女性	20 歳代	(n= 94)	35.1	17.0	72.3	36.2	9.6	9.6	8.5	3.2
		30 歳代	(n=120)	42.5	14.2	75.0	17.5	8.3	10.8	3.3	1.7
		40 歳代	(n=102)	51.0	16.7	75.5	16.7	11.8	18.6	3.9	0.0
		50 歳代	(n= 72)	29.2	19.4	65.3	15.3	15.3	27.8	6.9	2.8
		60～64 歳	(n= 30)	53.3	13.3	66.7	16.7	13.3	23.3	10.0	0.0
高齢者	一般	(n=933)		16.5	8.5	50.6	8.0	18.6	23.7	6.1	4.7
性年代別	男性	65～74 歳	(n=344)	20.6	6.1	59.6	5.8	17.4	19.5	4.7	2.9
		75 歳以上	(n=166)	8.4	4.2	53.0	10.8	27.1	23.5	3.6	6.6
	女性	65～74 歳	(n=275)	21.8	15.6	42.2	6.5	16.7	28.7	6.2	3.6
		75 歳以上	(n=142)	6.3	5.6	43.7	12.7	14.8	24.6	12.0	8.5

(3) 災害時のための個人情報提供への考え方

防災のための個人情報提供については、高齢者一般、居宅サービス利用者、未利用者、障害のある人のいずれも肯定的な回答が多くなっている。知らせてもよいとする回答は高齢者一般で最も高く、居宅サービス未利用者で最も低くなっている。障害のある人では「わからない」とする回答も17.9%と高くなっている（図表2-3-1- ）。

図表2-3-1- 災害時のための個人情報提供への考え方



障害のある人のうち、「知らせたくない」とする人の割合は、精神障害のある人で最も高く1割を超えている。情報告知の目的を丁寧に説明し、理解を求めていくことが必要と考えられる（図表2-3-1- ）。

図表2-3-1- 災害時のための個人情報提供への考え方

